

SCM-11211), 田名塩田 (松本雅人 s.n., Aug. 16, 1998, SCM-10883). 座間市小池東原 (松本雅人 s.n., Oct. 5, 1998, KPM-NA117139). (ACM: 厚木市郷土資料館, KPM: 神奈川県立生命の星・地球博物館, SCM: 相模原市立博物館).

新刊

□Saunders R. M.: **Monograph of *Schisandra* (Schisandraceae)** 146 pp. 2000. The American Society of Plant Taxonomists. \$ 21.00.

これはアメリカ植物分類学会が刊行している Systematic Botany Monographs の 58 巻として出版された, 文字通りマツブサ属の分類誌である. 著者 Saunders はすでに同じシリーズの 54 巻 (1998) でサネカズラ属を纏めている. 著者によればマツブサ属は 23 種に分類され, 1 種 (*S. glabra*) が北アメリカに産する他はすべてアジア産で, 多様性の中心は中国南東部から中南部にある. 本書は, この属についての研究史, 形態学, 生化学, 胚発生, 生物地理などからの分析, 形態形質にもとづく系統解析とそれに基礎をおく分類体系, 各種についての詳細な記載と標本などからなる. いずれの分析も詳細でかつ適切な評価が与えられている. 日本に産するマツブサとチョウセンゴミシの扱いには従来と変わりはない. 本書は多数の標本を引用しているが, 日本の標本館の標本は数点を除き引用されていない. このような総括的研究にどの研究機関も貸出しなどの協力ができなかったのは, 事情があるとはいえ悔やまれる. (大場秀章)

□李 永魯: **韓国植物研究院報 第一号.**

李 永魯氏が主催する韓国植物研究院から研究報告が出版された. 韓国植物研究院報第一号 (Bull. of Korea Plant Research No. 1, May 10, 2000) である. B5 判, 50 頁からなり, 多くの美しいカラー写真や図を入れて, 韓国に産する *Pulsatilla*, *Asarum*, *Orostachys*, *Elsholtzia*, *Nuphar*, *Allium scorodoprasm* L. の解説や, 韓国新産の植物などが報告されている. 論文は主に韓国語であるが, 必要ところは英語で書かれている. 幾つかの新種や新変種が見られる. 韓国の植物は日本に深い

本稿をまとめるにあたり, 御助言をいただいた門田裕一博士と, 生育地の情報を寄せてくださった松本雅人氏に謝意を表する.

(神奈川県立生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History,
Odawara, Kanagawa, 250-0031 JAPAN)

関係を持つので, この報告書は日本の植物研究にも見逃せないものである. 定価が書かれていないので, 非売品だと思う. 出版は次の所である. 韓国植物研究院, ソウル特別市鐘路区東崇洞1-88. (山崎 敬)

□土門尚三: **山形県 北庄内の植物誌** 190 pp. 1999. 北庄内の植物誌刊行会. ¥3,500 (税別).

力作である. 本書でいう北庄内とは, 山形県日本海側の庄内地方のうちの最上川以北を指し, 鳥海山と飛鳥を含んでいる. 全体の構成は, I. 山形県北庄内の代表的な植物の図譜, II. 山形県北庄内の植物相 (フロラ) について, III. 山形県北庄内の植物目録, IV. 分布・分類学上特記すべき植物, の4つとなっている. パート I にはチョウカイフスマ, チョウカイアザミなど力強い41葉の線画が収録されている. 著者から原画を見せていただいたときから本書の刊行を楽しみにしていたものである. パート II には植物相の特徴と植生が概観されている. 本書は, 「山形県の8%を占めているこの北庄内に, 151科1,747種もの高等植物が自生していることが明らかになった. じつに山形県全体からすれば約75%もの植物が存在することになる. 山形県においてこれだけの面積にこれだけのフロラは他にないと言ってよからう」という. パート III がそのリストであるが, もとになる標本の所在を明記して欲しいところである. 本地域に含まれる飛鳥はトビシマカンゾウ, ヒロハキクザキイチゲなど固有の分類群が分布するほか, 山形県に62種が知られている日本海要素がたった3種だけ (オオイタドリ, ハイイヌツゲ, ミチノクホンモンジスゲ) しかないというのは驚きである. パート IV には特記すべき植物の, 北庄内及び山形県での形